

# 映画『ラストサマーウォーズ』

## 大野元裕埼玉県知事 表敬訪問レポート

狭山茶の主産地・埼玉県入間市を舞台にした青春ジュブナイル映画『ラストサマーウォーズ』は、6月24日（金）よりユナイテッド・シネマ入間にて先行公開され、7月1日（金）からは全国公開が決定しております。

公開に先駆けて、入間市長・杉島理一郎氏、出演のデビット伊東氏、櫻井淳子氏、そして監督・宮岡太郎氏による、大野元裕埼玉県知事への表敬訪問を実施いたしました。



左から 宮岡太郎監督、櫻井淳子様、大野元裕埼玉県知事、デビット伊東様、杉島理一郎入間市長

### 【映画『ラストサマーウォーズ』埼玉県知事表敬訪問 詳細】

- <日 程> 6月15日（水）
- <場 所> 埼玉県庁 庁議室
- <参 加 者 > 埼玉県知事：大野元裕様、入間市長：杉島理一郎様  
デビット伊東氏、櫻井淳子氏、宮岡太郎監督
- <時 間> 11：20～ 埼玉県知事 表敬訪問 スタート  
11：35～ フォトセッション

#### <オフィシャルレポート>

映画「ラストサマーウォーズ」埼玉県知事表敬訪問が15日、埼玉県庁で行われ、俳優でタレントのデビット伊東氏、女優の櫻井淳子氏、入間市長の杉島理一郎氏、メガホンをとった宮岡太郎監督が大野元裕埼玉県知事を表敬訪問した。

本作は、狭山茶の主産地として有名な埼玉県入間市を舞台に、小学6年生の映画好きな男の子が、想いを寄せる女の子の引越しが決まったことをきっかけに、彼女をヒロインにした自主映画作りをスタートさせようと奮闘する青春ジュブナイル映画となっている。

はじめに杉島市長は「入間市を舞台にしました映画『ラストサマーウォーズ』が完成をいたしました。今日は映画の完成と、全国公開のご報告ということで伺わせていただきました」と大野知事に挨拶をし、入間市出身の宮岡監督は「小学生、中学生のときから映画が大好きで、実家が加治丘陵のたもとにあったんですけど、父のハンディカムを借りて仲間たちと自主映画ごっこみたいなことをしていました。そのあと都内に移り住んで映画やテレビドラマの仕事をしてきたのですが、そんな折、杉島市長や入間市のほうから『何か入間市で文化的な事業ができないか』とご提案をいただきまして、故郷の入間市を舞台にした“ご当地映画”と呼ばれる作品を作ることが長年の夢でしたので、自分の思い出をもとに映画企画を作って進めさせていただきまして」と経緯を説明した。

また、撮影時のエピソードを聞かれると、入間市出身で主人公・陽太(阿久津慶人)の父親を演じるデビット伊東氏は「僕たち大人はほとんど(撮影)日程がなかったので、実家に帰ったようなものでした」と冗談を言って会場を和ませ、「物語は子どもたちがメインなので、子どもたちが本当に素晴らしくて、僕たちはそれを見ていたようなものです」とコメントし、埼玉県鶴ヶ島市出身で母親を演じる櫻井淳子氏は「私も微笑ましく見ていたのですが、デビットさんが子どもたちとすごく遊んでいたことは覚えています」と回顧。

これに伊東氏は「セリフひとつ覚えずに子どもたちと遊んでいました」と再び冗談を言って笑いを誘い、「一瞬で僕たちは親子になったり兄弟にならないといけないので、まずコミュニケーションが大事だと思っていて、台本が頭の中に入っているのは当たり前ですけど、子どもたちとずっと遊んでいましたね。役をもらった以上は、それを僕たちが形にしないとけないので…。あっ、すみません。役者論を語っちゃって」とコメント。本作を見たという大野知事は「お父さん、お母さんのかっこいいところがありましたね」と2人を絶賛すると、伊東氏は「ああいう(厳しい)奥さんがいたら嫌じゃないですか?」と返し、櫻井氏も「私も嫌です(笑)。映画で自分の姿を見てすごく嫌になりました。『怖くないですか?私』って最後、監督に言ってしまったくらいです」と吐露すると、大野知事は「怖かったかもしれませんが」と本音を漏らして笑わせた。

改めて、本作について大野知事は「すごくありがたかったのは、見た瞬間に“入間だ!”ってわかる。入間の1番きれいな季節で撮ってくれたじゃないですか。そこに(伊東氏と遊んだ)子どもたちの思い出が背景に入っているのがすぐわかる映像で、見ていてありがたかったですね。“入間だ! 思い出いっぱい!”って感じてました」と感謝すると、宮岡監督は「狭山茶という埼玉県の名産であり、入間市が中心の栽培地というものを発信したいなという思いがあって、絶対に狭山茶の広大な茶畑をドローンで撮ろうって最初から決めていて空撮をしました」と思いを明かした。

最後に、本作に期待するところを聞かれた大野知事は「埼玉県を舞台にした映画はたくさんあると思いますが、入間市を舞台にさせていただいて、とても入間市のいいところが出ていて、しかもワクワクするストーリーに仕立てさせていただいて本当にありがとうございました。宮岡監督の地元に対する愛情がとても溢れていたと、とても感謝しています。お1人(杉島市長)またスターが誕生したということで、そこも改めて感謝を申し上げたいと思います」と頭を下げ、「埼玉県としても、公式観光サイト『ちょこたび埼玉』というのがあるので、そこでぜひご紹介させていただくとか、県としてもしっかりとバックアップして、この夏に子どもたちにワクワクを映画館で味わってもらえるような、そんな体験をしていただけるように応援したいと思っていますので、引き続き埼玉県を大事にしてください」と協力を約束。「今度は(櫻井氏の出身地)鶴ヶ島をお願いいたします」と宮岡監督にお願いした。

同イベントの終わりにはマスコミ各社による取材も行われ、本作の見どころを聞かれた伊東氏は「とにかく子どもを見てください。とにかく子どもたちの夢とか希望を叶えようと努力するパワー。そして親が『ダメなんだよ』という境目。僕たちは何をすべきなんだということを、見た人が考えてくださいという映画ですね」と熱く語り、櫻井氏は「親目線で見てもらうとすると、子どもたちが頑張っている姿を見て、どれだけサポートしてあげられるかということ、改めて考えさせられるんじゃないかなと思いますので、ぜひ見てください」とアピールした。

映画「ラストサマーウォーズ」は、6月24日(金)よりユナイテッド・シネマ入間にて先行公開、7月1日(金)より新宿武蔵野館、シネ・リーブル池袋ほか全国順次公開。

.....  
<あらすじ>

## ボクのヒロインになってください!

小学6年生の内気な映画好き男子・陽太は、同級生の女子・明日香にひそかに想いを寄せていた。

そんな明日香が急に引っ越すことが決まり、動揺を隠せない。

「そうだ、彼女をヒロインにした映画を作ろう!」

思い立ったものの、インキヤな彼をサポートしてくれる友達はいない。

映画好きな担任の土方や陽太の兄が相談にのってくれて、気づけば、ちょっとキャラ強めではあるけれど、愉快で才能に溢れた同級生5名が仲間になっていた。

つまずきながらも、スマホアプリや SNS など令和テクノロジーを駆使して撮影はすすんでいく。しかし子どもだけでの撮影は危ないと親たちの妨害や事故が発生してしまい……。映画を完成させて、初恋の明日香を笑顔にすることはできるのだろうか?

.....  
阿久津慶人 飯尾夢奏 羽鳥心彩 松浦理仁 小山春朋 上田帆乃佳  
井上小百合 長妻怜央(7ORDER) / デビット伊東 櫻井淳子

監督・企画・編集：宮岡太郎 脚本：奥山雄太

撮影：古谷信親 | 照明：加藤祐一 | 録音：大野裕之 | 助監督：田中章一 | 制作担当：香川智宏 | 美術：佐々木健一 | 衣裳：平田実香 深野明美 | ヘアメイク：和気れいな

プロデューサー：金丸千尋 | 協力プロデューサー：保坂慎一郎 | 音楽：中村巴奈重 | 主題歌「ラストサマーフィルム」はたゆりこ  
協力：埼玉県入間市 入間市教育委員会 入間市文化創造ネットワーク | アソシエイトプロデューサー：真夜中のサイクリング  
なあちゃん こつまちゅい 水口崇裕 ゆり ひなめこ

制作：映画「ラストサマーウォーズ」製作委員会（啓和運輸 住協 入間さんま祭り実行委員会 徳竹正彦 コスモ・スペース  
M×2films 吉沢建設 司産業 水村雅啓 テレ玉）

後援：入間市観光協会 入間市商工会 入間青年会議所 入間ロータリークラブ 入間南ロータリークラブ 入間ライオンズクラブ  
入間市工業会

協賛：エヌエスティ・グローバリスト 徳竹茂男 | コロナ対策協力：アナライザー 吉岡

2022年 | 80分 | カラー | 日本 | ステレオ | シネマスコープ

配給：「ラストサマーウォーズ」製作委員会 ©「ラストサマーウォーズ」製作委員会

**6月24日（金）よりユナイテッド・シネマ入間先行公開**

**7月1日（金）より新宿武蔵野館、シネ・リーブル池袋ほか全国順次公開**

<公式HP><http://lastsummerwars.com/> <公式Twitter> @iruma\_mov

【パブリシティお問い合わせ】

株式会社とこしえ：03-6457-3035/代表メール：info@tokoshie.co.jp  
(担当：甘楽 080-3429-7820/松本 090-2167-6158/飛田 080-4148-8719)

【劇場営業に関するお問い合わせ】

FLICKK (フリック) 川村静哉 090-8744-1507 メール：[s.kawamura66@gmail.com](mailto:s.kawamura66@gmail.com)